

令和3年度第2回地方独立行政法人岡山市立総合医療センター理事会議事録

○日 時：令和3年8月30日（月）13：27～14：25

○場 所：岡山市立市民病院 1階多目的ホール（1,2）

○出席者：理事長 松本 健五

常務理事 片山 伸二

理 事 今城 健二、臼井 正明、東 良平、高橋 邦彰

監 事 吉沢 徹、大倉 宏治

1 開 会

理事長開会あいさつ

（事務局）

理事長、理事5名出席。法人の定款第16条に規定の構成員の過半数の出席、理事会成立の確認・報告。また、監事も2名出席。

2 議 事

○議案第1号 令和4年度予算編成要領について

出席理事全員の賛成により可決。

3 報告事項

○報告第1号 令和2年度財務諸表の承認について

事務局から令和2年度財務諸表の承認について報告があった。

○報告第2号 令和2年度業務実績評価結果報告について

事務局から令和2年度業務実績評価結果について報告があった。

なお、令和2年度業務実績評価報告書の評価項目 第1-1-(2)エ「せのお病院 地域包括ケアの充実への貢献」の評価結果について、理事・監事から次のような意見が出された。

【監事吉沢】：当センターが行った自己評価よりも岡山市長が行った評価が低くなっている点があったことについて意見を申し上げる。コロナ禍にあっても市民公開講座は感染対策を行ったうえで開催し、地域医療機関の参加する講演会についても、対面式の

集会の代替手段としてオンラインでの開催ができる段階までは準備をしている。相手方の事情により講演会を開催できなかったことについて、評価の理由に事業所の参加を促すことを求められているが、参加するか否かは相手方の判断や意向が尊重されるべきであり、当センターが強制できるものではなく、また、強制と受け取られないようにしなければならない。そうすると、岡山市立総合医療センターとして行うべきことは行ったといえ、岡山市長の前記指摘は当を得たものとは言い難い。

このようなことからこの項目について、C 評価（年度計画を十分に実施できていない）とされる理由はなく、岡山市長が行った評価は妥当とは言い難い。C 評価となったことにつき、目標値が未達ということが理由となっているというのであれば、もともとの目標値を低く設定していれば、その数値と実績との差が小さくなるため、今回においてもBやAなどの評価を受けることになると思われるが、このように形式的に目標値と、実績値とを比較した数字だけで判断をするのであれば、評価方法それ自体に合理性がない。それゆえに、岡山市長の判断方法自体に問題があると考ええる。

【理事】：数値評価については、数値の設定根拠が分かれば取り組みようもあるが、設定根拠が分からぬままに、実績値が目標値より上か下かで評価が動いていることについてかねてから疑問を感じている。第1期中期目標期間が終了し、第2期中期目標期間も後半の段階にさしかかり、「独立行政法人とはどのようなものか」ということが分かってきた部分もある。専門性を高めるための数値目標としてはどういったものが必要なのか、今後も理事の方のご意見をいただきながら、岡山市と協議を進めていきたいと考えている。

○報告第3号 第2期中期目標期間における業務実績見込評価結果報告について

事務局から第2期中期目標期間における業務実績見込評価結果について報告があった。

○報告第4号 第3期中期目標（素案）について

事務局から第3期中期目標（素案）についての報告があった。

○報告第5号 第3期中期計画作成スケジュールと策定方法について

事務局から第3期中期計画作成スケジュールと策定方法について報告があった。

○報告第6号 令和3年度の経営状況（～7月）について

事務局から7月までの経営状況について報告があった。

4 閉会

理事長閉会あいさつ